

健康 さがみはら



昨年は震災や洪水に円高と大変な年でしたが、希望を持って苦境を乗り越えていきたいと思っております。健康について関心が高まる中、震災を機に今まであまり気にすることのなかった放射線について考えることも多くなりました。健康さがみはらでは今後も、知っておいた方が良い病気などの知識について取り上げてまいります。今回は「心房細動」と「川崎病」についてです。病気になったときの対処や、その病気にならない為の予防法など、皆さまのお役に立てますよう広報活動が続ける所存でございますので、宜しくお願い申し上げます。

発行 社団法人 相模原市医師会



自梅。春告草とも呼ばれ、花言葉は高潔、忍耐、
厳しい美しさ、あてやかさ。

撮影 川野信之

相模原市長 加山 俊夫



市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、東日本大震災によりたいへん大きな被害が生じました。しかし、一方では、たくさんの方々による支援の輪が広がりました。

市といたしましても大船渡市を中心に支援をしておりますが、今もなお市民の皆さま方から、様々な支援が行われていますことに心から感謝と敬意を表します。

現在、国内においては、人口減少・高齢社会が進行する中であって、世界的な経済不況にともなう円高・株価低迷が続いている状況下におきましても、市民の皆さまの誰もが安全で、安心して、心豊かに生活できる地域社会をつくるのが重要であります。そのため、本市では、誰もが健康で生きがいを持って暮らすことができる社会の実現に向け、市民の皆さまのニーズを的確に捉えながら、福祉や医療の充実、健康づくりの普及とともに、震災からも学んだ地域で支えあうコミュニティの形成、福祉健康都市の実現が必要と考えています。

そのためにも、引き続き、医師会の皆さま方のご支援をいただきながら、地域医療を充実させ、市民の皆さまの健康で安心した暮らしを守る取組を進めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市民の皆さまにとりましてこの一年が、希望に満ち溢れた素晴らしい一年でありますことを祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

社団法人 相模原市医師会長 黒沢 恒平



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年の東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

被災地の一日も早い復興と、被災された皆さまに一日も早く穏やかな日常が戻れますよう、心から願っております。

相模原市医師会は、休日と夜間の急病診療をはじめとして、各種検診、予防接種や乳幼児健診、訪問看護など地域の医療・保健・福祉に従事しており、昨年の6月より、市民の皆さまが、身近な地域で安心して救急医療が受けられるようにと、相模原南メディカルセンターにおいて「精神科初期救急」事業をスタートいたしました。

近年は市民の皆さまの保健、医療、福祉に対する関心が高まるとともに、医師会が果たす役割も大きくなってまいります。適切な健康情報や医学・医療に関する正しい理解と知識を深めていただくため、この「健康さがみはら」の発行においては、市民の皆さまとともに、お互いの理解と共感が得られるよう工夫しております。おかげさまで、親しみやすいと好評をいただいております。これからも、健康に関する知識の普及を図ってまいりたいと思いますので引き続き、ご愛読のほどお願い申し上げます。

今年一年の市民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。